

MR（麻しん風しん混合ワクチン）予防接種を受けられる方へ

1. 麻しん、風しんとワクチンの効果について

MRとは「麻しん」と「風しん」を予防するワクチンです。麻しんは、麻しんウイルスによる重い感染症です。発熱、咳、鼻水、めやに、発疹が主症状で肺炎、中耳炎、脳炎などの合併症がおこる事があります。風しんは発疹、発熱、頸部リンパ節の腫れが主症状で、血小板減少性紫斑病、脳炎などの合併症がおこる事があります。妊娠初期の妊婦が感染すると生まれてくる子どもが先天性風しん症候群（難聴・先天性心疾患・白内障など）になる可能性があります。予防接種により、95%以上の人が免疫を獲得できると言われています。

2. 接種を受けることができない方

- 1) 現在、妊娠している場合
- 2) 体温が37.5℃以上ある場合
- 3) 重篤な急性疾患にかかっている場合
- 4) 接種液の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある場合
- 5) 3～6ヶ月以内にガンマグロブリン（血液製剤の一種で重症の感染症の治療などに使われます）の注射あるいは輸血をうけたことがある方（免疫が十分に出来ないため、接種を延期する必要があります。）
- 6) 免疫に影響のある基礎疾患を有する人や免疫を抑える薬を服用中の方
- 7) 医師が不適切な状態と判断した場合

3. 予防接種を受ける際に注意が必要な方

- 1) 心臓血管系疾患、腎疾患、肝臓疾患、血液疾患等の疾患を有する方
- 2) 予防接種後2日以内に発熱のみられた方、及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
- 3) 過去にけいれんの既往のある方
- 4) 過去に免疫不全の診断がされている人及び近親者に先天性免疫不全症の人がいる方
- 5) 接種しようとする接種液の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方
- 6) 家族や勤務先など周囲に麻疹、風疹などの病気が流行しており、その病気にかかっていない方

4. 接種後の副反応について

ワクチン接種後から数日以内に発熱、発疹、かゆみ等がみられる場合があります。全身症状として接種後数日～2週間以内に全身のだるさや接種部位の痛み、発赤（赤くなる）、腫脹（はれる）、硬結（固くなる）などがみられる場合があります。まれに重い副反応として、アナフィラキシー様症状（ショック、じんましん、呼吸困難など）、血小板減少性紫斑病（紫斑、鼻出血、口腔粘膜の出血等）脳炎、けいれん等が報告されています。

5. その他の注意事項

- 1) 麻しん風しんワクチン接種後に他の注射生ワクチンを接種する場合は27日以上の間隔が必要です。
- 2) ワクチンを接種した方ののどから接種後にワクチンウイルスがでてくるがありますが、周りの方にうつることはありません。
- 3) 接種した当日の入浴は可能ですが、接種部位を清潔に保ち、激しい運動はひかえてください。

6. 予防接種による健康被害救済制度について

任意の予防接種によって引き起こされた副反応により重篤な健康被害が生じた場合は、審査のもと「独立行政法人医薬品医療機器総合機構法」に基づく健康被害救済制度の対象となります。

お問い合わせ先（住民票のある市町村へお問い合わせください。）

飯塚市	健幸保健課	感染症対策室	電話	0948-96-8615
嘉麻市	健康課	健康推進係	電話	0948-42-7430
桂川町	健康福祉課	健康推進係	電話	0948-65-0001